

## 三菱自動車、Foxtron と電気自動車の OEM 供給について覚書を締結

三菱自動車工業株式会社（以下「三菱自動車」）と、鴻海精密工業（Hon Hai Precision Industry Co., Ltd.、以下「Foxconn」）傘下で電気自動車の開発を担う鴻華先進科技股份有限公司（Foxtron Vehicle Technologies Co., Ltd.、以下「Foxtron」）は、Foxtron が開発した電気自動車を三菱自動車に供給することについての覚書を締結し、検討を進めることとしました。

三菱自動車に OEM 供給されるこの電気自動車は、Foxtron が開発し、裕隆汽車製造股份有限公司（Yulon Motor Co., Ltd.、以下「裕隆汽車」）によって台湾で生産され、オセアニア地域（オーストラリア、ニュージーランド）で 2026 年後半に販売開始する予定としています。本モデルは、昨年発表したオーストラリアでの 2030 年に向けた商品計画に含まれており、電気自動車としての優れた走行性能やインフォテインメント機能を有し、同地域に最適であると判断しています。三菱自動車および Foxtron はこの覚書に基づき、本契約に向けて協議を進めていきます。

三菱自動車は、プラグインハイブリッド EV『アウトランダーPHEV』の大幅改良や、アセアン地域で好評の『エクスパンダー』及び『エクスフォース』に HEV モデルを追加するなど、新型車の電動化によって環境対応を推進しています。また、Foxconn との協業検討に加え、欧州ではルノー、北米では日産からの OEM 供給を受けるなど、アライアンスの強みを活かして電動車ラインアップを強化する計画です。さらに、今後はアライアンスパートナーとの協業拡大により、オセアニア地域を含むグローバルでの電動車ラインアップの強化を検討しており、カーボンニュートラルの実現に向けた取り組みを加速していきます。

以 上